
【CONTENTS】

- 【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】
- 【2】産業遺産学会会員の方へのご協力をお願い／産業遺産学会理事 橋本英樹【再送】
- 【3】宇都宮式改良竈調査のお知らせと協力をお願い／天野博之・天野武弘【再送】
- 【4】トヨタ産業技術記念館の中庭れんが壁修繕保存工事の記録動画公開のお知らせ【再送】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

- 第169回定例研究会（対面での開催を実施します）
 - 日時：2021年7月25日 13:15～17:00
 - 会場：とよた市民活動センター
<http://www.toyota-shiminkatsudo.net/>
 - 住所：豊田市若宮町1丁目57番地1 A館 T-FACE 9階（松坂屋豊田店の上）
 - 交通：名鉄三河線 豊田市駅下車 西口を出てすぐ。
愛知環状鉄道 新豊田駅下車 徒歩3分
車での来場の場合は近隣の有料駐車場をご利用下さい。
豊田市中心市街地3時間駐車無料サービスが利用できます。
<http://www.toyota-shiminkatsudo.net/contents/img/guide/access.jpg>
 - ご注意：手洗い・消毒の実施・マスク着用の徹底が求められていますのでご注意ください。

当日は、「産業遺産研究」第28号をご出席の会員の皆様に配布する予定です。

- 第170回定例研究会・見学会
 - 日時：2021年9月（詳細は未定）
 - 行き先：岐阜県関市の刃物に関係するところを見学する方向で検討中
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 開催延期（日程未定）

【2】産業遺産学会会員の方へのご協力をお願い／産業遺産学会理事 橋本英樹【再送】

このメールが配信されている産業遺産学会会員からの反応が少ないため再送させていただきます
本メールを受信された産業遺産学会の会員の皆様は、

<https://forms.gle/MYdyAd19jfArcuTS9>

から、ご回答下さい。産業遺産学会会員の方に限ります。

中部産業遺産研究会の広報幹事として、この電子メール版ニュースレターの配信を担当
させて頂いております

本年6月より、産業遺産学会の広報担当理事に就任させて頂きました。

実は、産業遺産学会においても電子メールによる情報配信（仮称：メルマガ）を開始する
方向で動いており、現在準備に入っております。

産業遺産学会で配信した情報も、一部は中部産業遺産研究会においても配信したり、また
その逆も行い、より内容を充実させたいと考えております。

その前に、実は産業遺産学会の会員の「現況届」が十分に集まっておらず、産業遺産学会
会員のメールアドレスが十分に把握できていません。

そこで、この電子メール版ニュースレターを受信された方で、産業遺産学会の会員でもある
方は、調査にご協力頂けますようお願いいたします。

中部産業遺産研究会のシステム上で関連団体のことの調査の呼びかけを致しますことを
どうかご容赦下さい。

【メールアドレスと現況届の提出状況の調査フォーム（Google フォーム）】

産業遺産学会の会員の方は、7月15日(木)午前中までに次のアドレスからご回答下さい。

<https://forms.gle/MYdyAd19jfArcuTS9>

【3】宇都宮式改良竈調査のお知らせと協力をお願い／天野博之・天野武弘【再送】

【宇都宮式改良竈調査のお知らせと協力をお願い】

半田市にある登録文化財「半六邸」の台所に、明治期築造と推定される竈（かまど）があります。
この竈は、化学技術者の先駆け・宇都宮三郎の指導に基づく竈と考えられ、その後の改変も
含めて大変興味深い状態で残っています。

今回、この竈の解体修理に際して、半六邸の保存活用に尽力されている NPO 法人半六コラボ様
から調査の機会をいただきました。

つきましては、下記の日程で調査を行いますので、実測や記録のお手伝い（見学、調査の助言等
も歓迎）が可能な方は、御参加くださるようお願いいたします。

○調査の目的

明治期推定の半六邸にある竈の解体修理に際し、その調査記録を残す

○日時

2021年7月18日（日）午前10時現地集合～16時頃の予定

○場所

半六邸（半田市中村町 1-7、庭園が目印、JR 武豊線半田駅から徒歩 15 分、「國盛酒の文化館」に隣接する川沿い）

公式な一般駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しになることを推奨します。

車の場合は周辺の公共的な駐車場をご利用ください。

○参加人数

調査場所が広くはないので、調査 10 名（先着順）

○当日の主な作業内容

竈を解体しながら実測調査（この後、11 月までに復原修理予定）

- ・清掃、現況実測または写真記録
- ・解体しながら構造等の調査、記録

なお、解体の主体は左官屋さんが行います。調査、記録等は現場合わせです。

皆さまには、実測を行う際の補助と、多くの視点から写真記録をお願いできれば幸いです。

○問い合わせ・申し込み先

天野武弘 amano-ta07@pro.odn.ne.jp

天野博之 catalyst-r@live.jp

【4】トヨタ産業技術記念館の中庭れんが壁修繕保存工事の記録動画公開のお知らせ【再送】

トヨタ産業技術記念館 主任学芸員の成田年秀様より、トヨタ産業技術記念館中庭の「煉瓦壁面等修繕保存工事」の記録映像（動画）が公開された旨、ご連絡を頂きました。

トヨタ産業技術記念館は、建築史的に評価された赤煉瓦の建物を歴史的遺産として保存しながら、展示施設として活用しています。

一般的に煉瓦は 100 年が寿命とも云われており、当館の煉瓦にも劣化や破損が随所に見られる事から、2017 年から煉瓦壁面の修繕保存をおこなってまいりました。ご紹介する動画は、1914（大正 3）年建築のノコギリ屋根跡が残る煉瓦壁面を、往時の面影を残しながら次の 100 年先まで耐えられるよう、約 80 日間にわたり修繕した過程を記録したものです。

工事は 2021 年 1 月 12 日（月）～ 4 月 5 日（月）に実施されました。

次のトヨタ産業技術記念館のホームページから YouTube にリンクしています

<https://www.tcmit.org/redbrick/> （15 分）

あわせて、繊維機械館のバーチャルガイドツアー（動画）もアップロードされましたので

こちらのご案内いたします。

<https://www.tcmmit.org/virtual-guided-tour/>

--



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018

The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには

csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/003801d77728%24f159a460%24d40ced20%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。